

議会だより

じょうわ

2012.7.24

No. **154**

山梨県昭和町議会ホームページ
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>



特集

議会改革
県内初の議会モニター制度 ②

議会モニター 大いに語る ④

一般質問 ここが聞きたい ⑩

井戸端会議 (住民・議員の対話集会) ⑩

追跡 **あの質問はどうなった** ⑱

短冊に願いを込めて
— 押原児童館 —

制度がスタート!!

制度を取り入れ、議会改革に取り組んでいます。
「た昭和町」と言える町の実現に努めるための制度です。

議会モニターのひとつ

今年からの試みということで私に何が
できるのか分かりませんが、一町民として、
より良い町づくりに
少しでもお役に立て
るよう、日々の生活
の中でもいろいろなか
らに目を向けてい
こうと思っております。



わたなべ みちよ
渡邊実千代さん
(河西区)

四人の子育てをし
ながら、町政を女性
そして母親の視点で
見ていきます。青少
年育成と教育面、男
女共同参画推進に具
体的な意識改革を踏
まえ、参加してい
たいと思います。



うえなけ ゆみ
植竹 由美さん
(清水新居区)

まだまだ昭和町は
発展できる、もっと
住みよい町、快適な
環境（人が集まる）、
山梨の中心であつて
ほしいとの思いが強く、
決心しました。でき
る範囲で頑張りたい
と思います。



しおさわ まさひろ
塩澤 政博さん
(押越区)

新鮮な感覚で町の
行政を意識して、子
どもたちの未来のた
めに住みよい町づく
りを目指し、微力で
すが、精一杯ご協力
をさせていただき
たいと思っております。



かさじま みえこ
笠島三枝子さん
(押越区)

あらためて昭和町
住民としての意識を
持つ機会となりました。
日ごろ町政に目を向
けることは少ないの
ですが、町民全体で
意識を持つことが、
住みよい町をつくる
ことになるとはな
いかと感じます。



こばやし としお
小林 利雄さん
(飯喰区)

昭和町は発展著し
い町として、とても
人気があり、人口も
増加を続けています。
これも、歴代町長や
議員の努力の積み重
ねの結果だと考えま
す。より良い昭和町と
なるよう、提言をし
ていきたいと思いま
す。



なかざわ まさし
中澤 正志さん
(西条一区)



山梨県内初！ 議会モニター

まちづくりや議会運営に反映するため、議会モニター
議会運営にご意見やアイデアをいただき「住んで良かつ

議会モニター制度 制定にあたり



議会議長

萩原 馨

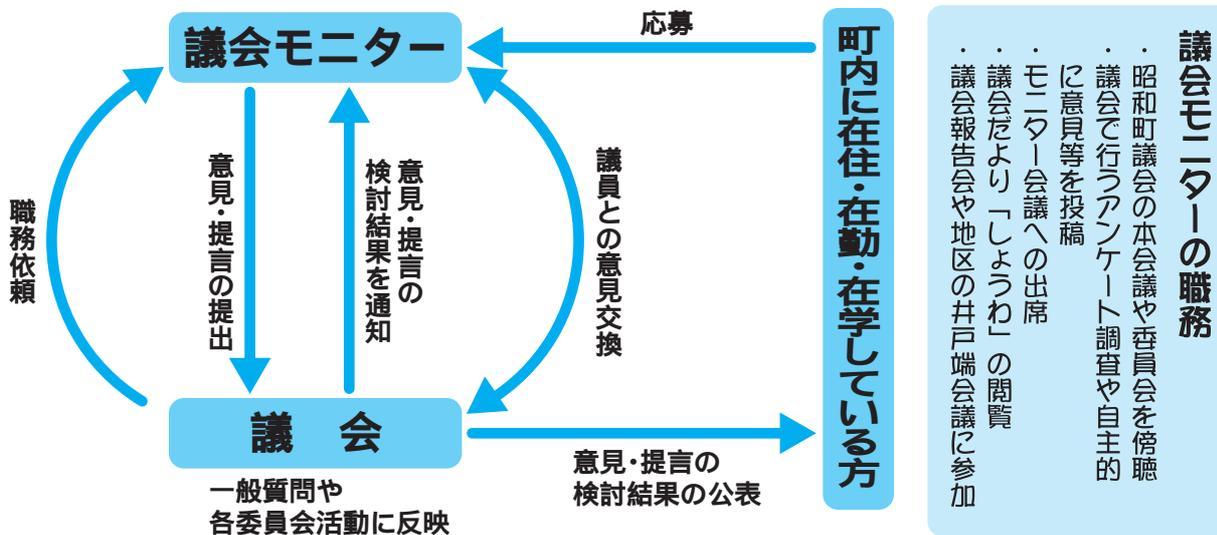
昭和町は平成の大合併時、住民意向調査アンケートを実施した結果、合併賛成者33・5%、反対者56・9%（住民の意向を重視して単独町政としての舵を切りました。

平成12年に地方分権一括法が制定、国や県から事務事業の委譲が盛んに行われ、議会でも真剣に討議し、研修を積んで本町の将来を考えました。

昭和59年から続く、地方交付税不交付団体としての名誉を更新させるため、議会では議会改革に取り組み、その一環として、平成19年から山梨学院大学と提携し、教授の講義、議員との双方方向での意見交換や、学生の考えを町政に反映させたり、井戸端会議で各区を回り、町民の視点に立って活動してきました。

モニターの皆様には、各種議会活動を知っていただき、あらゆる角度からご意見を頂戴したいと考えております。

議会モニター制度の流れ



議会モニター

大いに語る

座談会

議会を傍聴して

司会 はじめに先日議会を傍聴した感想は、いかがでしょうか。



植竹さん

植竹由美 想像していた議会は、もっと活発にやり合う場面があると思っていましたが、原稿を読んで答えているように見受けられたので、その場で答弁するような、活発な議会を期待します。

司会 一般質問は通告制ですが、委員会は活発な議論を展開していますので、委員会にも傍聴に来てください。

小林利雄 議会だよりの定例議会質疑というのが、今おっしゃっていた委員会で、こちらの一般質問というのが、いわゆる議場で行うものですね。



小林さん

どちらが興味をそそるかと言ったら、委員会質疑のほうが緊張感があつて、身近な問題にも触れているので興味はありますね。



委員会室にて

萩原議長 一般質問は政策的な部分もあるので、細かいことについては、委員会審議で行っています。

議会広報を読んで

小林利雄 議会だよりはすごく工夫されていることを、改めて感じました。一般質問も緊張感があり、議員さんがどんなことを言っているのか、すごく伝わってくる誌面というのが率直な感想です。

一般会計の部分で感じたのは、歳入歳出がとてもしっかりやすくグラフになっていることですが、町は何にお金をかけているのか、具体的に分かれると財源にも興味を持つようになるし、昭和町らしさが出てくると思います。町民の立には苦労しています。町民の立



中澤さん

場では、財源はグラフを使って見せるのが一番分かりやすいと、この方法を続けています。

今回、新しく自主財源という言葉も入れ、どれだけあるかも示しました。ただ、何が目玉か、町としてのやりたい事業は何かなど、改善していく余地があると考えています。

中澤正志 スポーツ少年団の情報をもう少し流してほしいと思います。子どもたちに興味を持ってもらえる形で、情報発信を願っています。

議会だよりや町の広報がありますが、ターゲット的なもの、誰に見てもらいたいのか。昭和町の良さだとか、そういうことを伝えらなければ、議会だよりも広報も、もっと受け入れられるのではないのでしょうか。



塩澤さん

その他の意見

塩澤政博 押原公園は、防犯対策をしてほしいと思います。警察も巡回していますが、もう少し強化してほしいと思いますね。町の防災公園として備えているわけですから、私たち消防団の訓練の場所として、活用できるとありがたいです。

笠島三枝子 役場前の歩道が気になっていきます。すごい傾斜がありますよね。

例えばベビーカー、車椅子にはとても危険です。普通に私たちが靴で歩いても、雨の日はとも滑って怖いぐらいです。短い距離なので段差のない歩道が



笠島さん

つくれないものかなと思っています。

渡邊実千代 児童館は12月28日からお休みで、3月31日も新学期の準備で休館です。働く母親はとても困るので、改善してほしいと思います。

司会 皆さんのご意見を、今後のまちづくりに生かすよう、最大限努力をしながら、検討していきたいと思えます。

今日は、ありがとうございました。

司会は長谷川地方分権対策委員長
座談会内容は、誌面の都合上、一部のみ掲載させていただきました。



渡邊さん

平成
24年度

一般会計補正予算

4967万円を増額補正

予算総額は

66億6467万円に

全員賛成で可決

6月議会で 決まったこと

おもな補正財源

・ 国庫補助金増額	2817万円
・ 県補助金増額	79万円
・ 町債(借入金)の増額 (西条昭和インター線建設事業)	2070万円

補正のおもな使いみち

・ 庁舎サーバー室の非常電源の更新	547万円
・ 民間保育所整備費補助	240万円
・ 昭和町ブランド米の試作補助	30万円
・ 耐震改修設計事業補助	40万円

《剰余金4164万円を基金に積み立てる》

田植えをする子どもたち



平成24年6月定例会は、6月12日から15日までの会期4日間の日程で開かれました。

この議会では平成24年度の一般会計補正予算のほか、条例改正5件、町道路線認定1件を原案の通り全員賛成で可決、専決処分3件を承認しました。このほか議会への請願1件を採択、国への意見書を可決し、閉会しました。一般質問は6人の議員が、当面する町政の課題について町の考えをただしました。

条例の改正

- ・町税条例の改正
平成26年度から35年度に限り、町県民税として復興税（500円）を加えるものです。

- ・印鑑条例の改正
- ・手数料条例の改正
- ・敬老祝い金支給条例の改正

・子育て支援医療費助成金支給条例の改正
いずれも外国人登録法の廃止に伴い、外国人に関する証明手数料が追加されるなど、条例中の一部の改正を必要としたものです。



委員会審議

専決処分の承認

- ・町税条例の改正
- ・国保税条例の改正
- ・平成23年度一般会計補正予算（第5号）
（補正額5428万円）
全員賛成で可決

町道路線の認定

- ・町道712号～718号の7路線を新たに町道に認定するもの。
（いずれも西条および西条新田地内。総延長443メートル）
全員賛成で可決



町道716号線（西条一区）

請願を採択（審議結果）

「取り調べの全過程の可視化」を求める請願

（提出者） 日本国民救援会山梨県本部 会長 広嶋喜栄司

（紹介議員） 深澤 平助

（請願の趣旨）

検察、警察による密室内での被疑者に対する不当な取り調べによる虚偽の自白強要、暴力や威嚇、誘導などにより検察、警察のシナリオ通りの供述を引き出した結果、冤罪や人権蹂躪の事例が続発している。

政府は2009年に参議院で可決された可視化法案の法制化を先送りしているが、早急に取り調べ全過程の可視化実現を求める意見書を提出していただきたい。

（審議結果）

本会議場において請願書提出を賛成多数で採択とし、意見書提出においては、全員賛成となりました。なお、議長において関係行政庁への意見書として提出することに決まりました。

放射線チェックの状況は？

河住議員 給食食材の放射線チェックをしているのか。学校教育課長 一部は県でもしているが、納入業者が行っている。



安心・安全な食材を

人間ドック値上げの理由と国保料の値上げはあるのか？

深澤(克)議員 人間ドックの個人負担額が値上げになったが、値上げの理由を受診対象者に周知してほしい。深澤(平)議員 国保料の値上げはあるのか。町民窓口課長 人間ドック値上げの周知については、今後の課題としたい。国保料に関しては医療費の残があるので値上げしなくてもよいと思うが、来年度は加入者の所得が1割程度下がっているので、値上げせざるを得ない。

保育所の補助金は？

河住議員 民間保育所施設整備事業費の補助金が多額であるが。福祉課長 当初予算に一部計上していたが、付帯施設の工事費が増えたため。

敬老祝い金の方針を

深澤(克)議員 年々高齢者が増えている中、町は敬老祝金の見直しを検討しているが、早急に方針を出してほしい。福祉課長 現在、協働政策評価で見直しを検討している段階であり、方針はでない。



楽しいいきがいバス

昭和町のブランド米

福島議員 昭和町ブランド米試作補助を補正しているが、田植えも終わった時期では対応が遅くないか。環境経済課長 試作でするのですでに準備に入っています。福島議員 試験的に行うというが、ヒノヒカリの品種まで指定するのは、どういうことか。環境経済課長 昭和町の気候に最も適した品種で、県でも推奨しています。中澤議員 どのような広報活動をするのか。環境経済課長 農協に依頼し希望農家を募る。萩原議員 町内では、田も少なくなってきたているが、町外の借地のものはどうなのか。環境経済課長 町内で取れたものでなければ認定されません。

ゴミ収集は
臨機応変に

林議員 粗大ごみ収集が来年4月より1カ所になるが、臨機応変に対応をお願いしたい。地域的なものや、高齢者対応を考えてほしい。

環境経済課長 収集方法を1年かけて検討したが、夜中に出したり、管理する人がいないと対応できない。高齢者対応は、従来どおりとする。

河田議員 4月からごみ袋が少し大きくなったが、小さいサイズがほしいとの声を聴く。環境経済課長 他市を調査しながら検討をしたい。



一カ所となる粗大ごみ収集予定地

農産物直売所の
入札は？

林議員 農産物直売所の入札の方式は、総務課長 農協で行うこととなっている。

販売手数料が高い

遠藤議員 農産物直売所の販売手数料は組合員は16%、非組合員は21%とは、高くないか。生産者のことを考え、検討できないか。環境経済課長 これは、農協の考え方です。



農産物直売所完成予想図

職員の
表彰制度は？

石原議員 若手職員の提言が多く採用されたが、励みとなるような表彰制度はあるのか。総務課長 特にないが、職員の表彰制度も国・県が廃止となったので、審査会に提案したい。

節電に
LED照明は？

樋口議員 電気料が値上げになるが、庁舎内に経費が安いLEDを使用しているか。総務課長 常永区画整理地内の歩道灯に使用しているが、導入に経費がかかるので庁舎内の使用はない。

防災放送
難聴地域調査を

深澤(克)議員 防災放送の点検を行ったというが、難聴地域の調査方法を広範囲にわたって実施してほしい。企画財政課長 検討したい。



町内の防災放送設備

ここが聞きたい

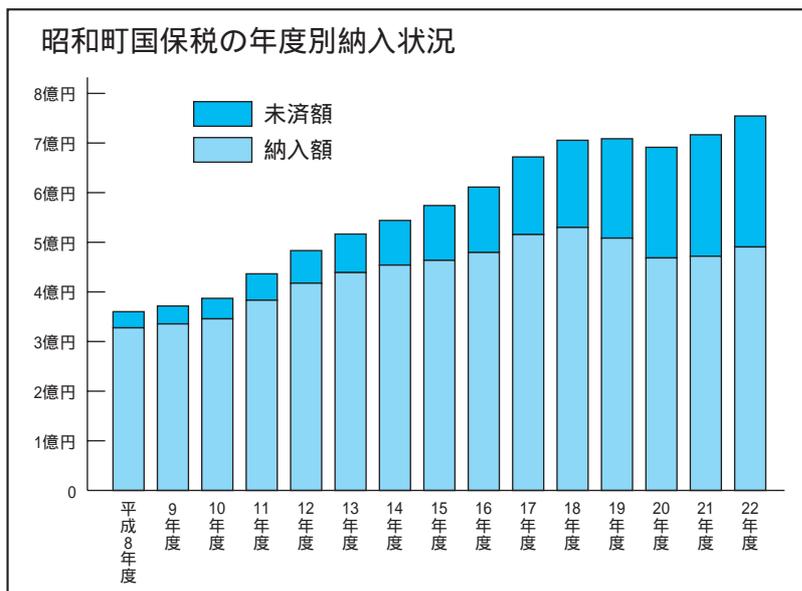
本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

Q 国保の危機を救う方策は A 根本的な改革が必要



ふかさわ へいすけ
深沢 平助 議員

一般質問



深澤 国民健康保険税の滞納が増えている。所得が大幅に減り、逆に保険料が増えているのが大きな要因だ。国庫負担の引き上げが危機を救う一番の方策だ。町長の考えは。

町長 医療費や後期高齢者負担金等が増加する中、持続可能な財政運営をするためには、広域化や公費負担の明確化等の根本的な改革が必要。町村会等を通じ国へ要望していく。

Q 浜岡原発の
廃炉を求める

A 現時点では
考えていない

深澤 御前崎市と「災害支援協定」を結んでいるが、浜岡原発で事故が起きれば協定も台無しだ。御前崎市に対し「浜岡原発の廃炉を求める要請」を行う考えは。

町長 長期的には脱原発の社会を目指す。短期的には経済や住民サービスへの影響が大きい。当面は政府や御前崎市の取り組み、牧之原市など近隣自治体の動向を見守りたい。廃炉の要請を現時点で行うことは、適切ではないと考えている。

Q 特定規模電気事業者
からの電力調達は

A 十分考慮し
検討する

深澤 町の公共施設の電力量を減らすため、特定規模電気事業者から、電力の調達契約を結ぶ考えはないか。

町長 県内も山梨市の取り組みに続き、契約する自治体が増加するだろう。本町においても、経費削減効果、業者の調査など、十分考慮し検討する。

施策を問う

一般質問



いしはら たかあき
石原 高明 議員

Q 集団登校の安全な通学路は

安全な通学路は

A 根本的な対策が必要

石原 集団登校する子どもが巻き込まれる交通事故が相次いでいる。

県は各教育委員会に対し、通学路変更やガードレールの設置等、通学路の安全確保に向け取り組みを強化するよう依頼しているが、本町でも児童が安心して集団登校できない危険な通学路がいくつかある。児童が安心して登校できる

よう、スクールゾーンや通学路30キロゾーン規制を設定する考えはあるか。

教育長

現在、30キロゾーン規制は6路線、20キロゾーン規制が2路線ある。必要な箇所を再度調査し、関係機関と協議するが、スクールゾーンの設置には、地域の同意や保護者の雨天時の送迎等、問題点も多く慎重な協議が必要。なお、通学路に関する要綱整備に取りかかっている。

再質問

石原 通学路に関する要綱の内容は。

教育長

安全確保のため、通学路の設定基準等の明文化に向け、教育指導監を中心に、4校会で作業を開始している。

Q 安全な通学路への取り組みは

ガードレール等の設置に努める

再質問

石原

30キロゾーン規制を行う場合、別の道に車の流れが変わることが想定される。集団登校で児童・生徒が通う通学路自体の安全を確保するため、可能な取り組みと今後の方向性を聞きたい。

町長

「通学路あり注意」の路面標示、交差点等の

石原

児童の集団登校の安全に効果が期待できるゾーン30の路面標示をすすめる考えは。

企画財政課長

道路標識の改修や、速度制限を路面表示し、通学路の安全に努めたい。



登下校する子どもたちを守るために

Q 財政力指数の改善は

A 徐々に上向く見通し



かわすみ やすしげ 河住 保茂 議員

河住 財政力指数は、平成20年から22年まで悪化している。今後はどのように推移していくのか。

町は健全財政を維持しているが、経常収支比率だけは硬直化し、自由な財政運営ができる余力がなくなっている。改善が必要だが見通しは。

町長 東日本大震災、円高の影響で経済情勢は不安定だが、企業努力や国の経済対策等で、本町の財政力指数も徐々に回復し、今後交付税の不交付団体として財政運営を行っていけると考えている。

税込確保に努める一方、物

件費の当初予算5%削減、補助金の見直しなど歳出カットにも取り組む。公債費（借金）は26年度をピークに減少していく計画。

Q 男女共同参画社会の推進を

A 啓発活動に取り組む

河住 政府は2020年までに、指導的地位に30%程度を女性が占めることを目標にしている。町は各種委員会や審議会に、女性登用を進めるため、女性に一定以上の割り当てを条例化する考えはないか。

町長 23年10月、男女共同参画推進条例を施行し、男女比率の改善を明記した。当面はアンケート等を通じて町民意識の把握に努め、啓発活動に取り組む。

Q 孤立死の予防対策を

A 「見守り」を強化したい

河住 孤立した生活は、もはや標準的な生活形態となっており、悲惨な孤立死を防ぐ地域のコミュニケーション意識の掘り起こしが重要だ。

安否確認マニュアル作成など、対策を伺う。

町長 民生委員、保健師、連携、見守りを強めていく。安否確認マニュアルについては、プライバシー保護に考慮し、孤立死サインの早期発見や対処法を民生委員会と協議、検討したい。

(単位：%)

区分 \ 年度	20年	21年	22年	前年度比較
財政力指数(単年度)	1.39	1.40	1.09	22.4
(3力年平均)	1.47	1.45	1.30	10.6
経常収支比率	68.1	82.7	80.4	3.4

財政力指数
必要な財源を、どのくらい自力で調達できるかを見る。「1」を基準としており、「1」を超える昭和町は昭和59年より不交付団体。

経常収支比率
財政の余裕度を見る。65～75%が適正、75～85%は弾力性をやや欠く、85～95%が弾力性を欠く。

Q 道路点検と危険箇所改善は

A 交差点改良、歩道設置に努める



たなか ひろよし 田中 博愛 議員

一般町道や生活道路は地区の土木委員から、通学路はPTAを通じて、改良・改修等の要望が例年100件ほど寄せられる。すべての通学路に

整備、危険な交差点の改良、安全施設の計画的な整備を位置づけている。

町長

23年9月策定の第5次総合計画で、歩道

早急に取り組み考えは。

田中 紙漕阿原の生徒の通学路は、一番遠い生徒は1・5キロもあり、身延線を越え市川三郷線の交差点を渡るが、朝の交通ラッシュ時には危険な箇所だ。一般道路の点検と危険箇所の改善に、

歩道の設置は不可能だが、財政が許す範囲で、交通量が多くなる幅員に可能な箇所は歩道の設置を、車道と歩道の分離として設けてある簡易的な付属施設は、より強固な物に替えていきたい。



通学路になっている農協前交差点

再質問

田中

甲府・市川三郷線、中巨摩東部農協支店

交差点の状況は。

建設課長

地権者の了解は取った。県が今年度測量等の委託をする予定。

Q 電力再生エネルギー対策と検討は

A 太陽光発電の導入を研究したい

田中

本町は非常に水資源だが、この水を利用し、「青空と緑と産業のまち」を印象付けるためにも、小水力発電など、有事に備えて役場庁舎に自然エネルギー発電を導入する考えはないか。

町長

昭和町は高低差が約10メートルと少なく、小水力発電に適しているかは疑問。南アルプス市のように、民間資金を導入し、市の施設に太陽光発電設備を導入するシステムは効率的だ。公共施設の屋上への設置を研究したい。

Q 教育長の重点施策は

A 「昭和教育」の推進を図る



ふかさわ かつお 深澤 克男 議員

深澤 教育委員会が担当する事業は幅広い分野に及び、その業務は大変重要な位置付けを持っている。教育長は事務局を統括する権限など重い役割を担っているが、今年度取り組む重点課題と基本的スタンスを聞きたい。

教育長

学校教育では、地域や学校の特色を生かし、基礎学力の向上、小学校の英語教育の拡充、不登校や軽度発達障害対策などに力を入れた。生涯教育では、中央公民館の整備、スポーツ・レクリエーション活動の充実、風土伝承館杉浦醫院等の文化財保護に努めたい。

今年度は、行政と学校現場の連携を図り「昭和教育」を推進するため、新たに配置された教育指導監の職務遂行を通じて、業務内容の道筋をつけた。

成人の週1回以上スポーツ実施、押原公園で朝のラジオ体操の実施、来年開催の第28回国民文化祭の本町主催事業「子ども太鼓フェスティバル」の準備に取り組む。

Q 教育指導主事配置は

A 行政と学校現場の連携を図る

深澤

町長は、「昭和教育」のさらなる発展を期す

ため、町村として県内初となる教育指導主事町単独配置を実現させたが、その業務内容と期待される効果を聞きたい。

教育長

教育指導主事、職名として教育指導監を4月より学校教育課に配置した。学校の教育過程、学習指導について、専門的な立場で指導助言する。

小学校は、学校間格差のない教育の検証、児童増加による危機管理、清水新居地区の甲府市への委託の今後の方向性についても、調査研究する。中学校は、小学校との連携による中1ギャップの解消、高齢者や障害者との交流、ボランティア活動の促進等に取り組む。

昭和教育とは



父母・家庭・行政・地域と児童・生徒・学校とが、よく理解し合い、連携し合って、

「1.安全、2.健康、3.学力、4.信頼、5.参加」

をキーワードに教育愛に貫かれた燃える教師たちに、児童・生徒とが一体となって実現していく。知・徳・体・志の備わった人間教育。

(平成17年5月 昭和町教育委員会)

Q 防災計画の見直しに 男女共同参画の考えは

A 男女のニーズの違いに配慮



かわた 河田あけみ 議員

河田 国の中央防災会議が作成する防災基本計画では、防災対策に女性の視点を取り入れる考えが示されている。昭和町地域防災計画の見直しにあたり、男女共同参画推進を図ると思われるが、町ではどのように取り入れていくのか。

町長 専門家、コンサルタントに加え、女性団体連絡協議会や今年度発足した「女性防災ネット昭和」等の各種団体の意見を聞き、被災時の男女のニーズの違いなどに配慮した見直しを行いたい。

再質問

河田 意見を聞く各種団体は具体的に決まっているのか。

いきいき健康課長 要援護者女性、子ども等、幅広く団体の意見を聞きたい。コンサルタントと検討している。

Q 地域減災リーダー研修を

A 実施する方向

河田 減災とは、いつ起こるか分からない災害に対して、平素から準備と対策に取り組むことである。そのため、地域減災リーダー研修会を自主防災組織やボランティア団体の方に受けていただき、自助の観点から防災意識の向上を図る考えはないか。

町長 NPO法人や消防本部等の関係機関と協議し、実施したい。

Q 子宮頸がん予防に HPV検査導入を

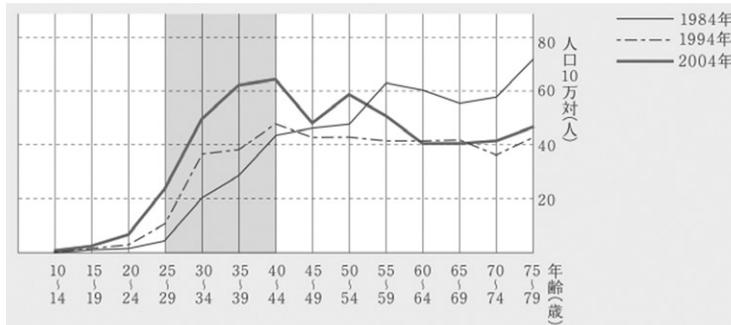
A 他のがん検診の あり方も含め検討

河田 子宮頸がん検査は細胞診が主流だが、がんになる前の細胞を見落とすことがある。HPV検査はDNAレベルで検査するため、前がん病変を見落とすことは

ほとんどない。併用検査に踏み切る考えはないか。

町長 HPV検査は現在、国のガイドラインでは標準的な方法となっていない。愛育会の昨年度アンケート調査を見ると、検診を申し込まない理由は、「なんともない」「忘れていた」等で50%を超える。検査内容の充実以前の意識変革の必要性を感じる。

子宮頸がん発生率の推移



(国立がんセンター対策情報センター資料)

HPV検査とは

子宮頸がんの原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)への感染の有無を判定する検査。子宮頸がんのリスクが比較的高いウイルスのDNAの有無を調べるものです。

会議

開かれた議会を目指し、地域ごとの住民の悩みや声を聴き、議論・調査・研究を進め、昭和町の住民福祉の向上と、地域社会の活力ある発展を目指すのが町議会の役割です。

井戸端会議で出された意見・要望は結果報告書として区長に提出します。すべての意見・要望を満たすわけにはいきませんが、議会は執行機関と一緒にあって課題解決に知恵を絞っていきます。

県道甲斐・中央線に安全な歩道を



河西区(第1回)

5月26日 河西区公会堂

出席者 区民 40人
教育厚生常任委員会

参加議員
河田あけみ 深澤 克男
深澤 平助 樋口 敏夫
河住 保茂
萩原 馨議長

おもな意見・要望と議会の対応

- Q 飯喰南交差点と東交差点の交通量が多く、右折信号がほしい。
A 飯喰南交差点は、最近時差式になり解消された。東交差点は、南甲府警察署で現状を調査し、信号機の入替えを検討している。
- Q 県道甲斐・中央線の歩道整備を実施するが、歩行者の安全を考えガードレールなど安全策を考えたほしい。
A 25年度に町道に編入の予定。歩行者の安全対策強化のため、すでに町では歩道と道路の境にポールの設置を要望している。
- Q 人間ドック費用の個人負担が増えているが、値上げ理由が示されていない。町はきちんと説明を。
A 人間ドック費用は一人37,500円で、町が24,700円を負担している。定数を50人増やし、350人しているので、ご理解いただきたい。
- Q 消防団でAEDの設置状況を調査しているが、今後公会堂に設置する考えはあるか。
A 以前、区長会でも話題になったが、公会堂等に鍵がかかっているため、いざというとき役立つ問題だ。区長会などで検討していきたい。
- Q 昭和町では、放射能調査を定点で行っているか。給食センターはどうしているか。
A 県内の測定結果を毎日、新聞紙上で発表している。安全基準内なので町内で調査はしていない。給食センターは、業者が放射能検査後、安全な食材だけ購入しており、小中学校の給食日より保護者にお知らせしている。
- Q 農産物直売所の進捗状況は。
A JA農産物直売所建設委員会が設置され、準備が進んできた。7月10日に起工式、10月中旬オープン予定。

要望に関して委員会では、6月8日に現地を視察をした。



地域住民と議員の 対話集会

井戸端



西条一区(第2回)

6月21日 西条一区・彩の公園管理棟

出席者 区民 50人

参加議員 産業土木常任委員会

田中 博愛 中澤 康夫

遠藤 辰雄 福島 正明

林 和仁

萩原 馨議長

樋口 敏夫 三井 猛

地元議員

おもな 意見・要望と議会の対応

Q イトーヨーカドー横、アルプス通りに繋がる道路の進捗状況、見通しはどうなっているのか。

A インターネットで公表の通り26年度完成予定、移転補償、代替地取得希望者の対応、買収、工事が順調に進んでいる。

Q ゴミ袋が大きくなると使いづらい。甲府市のものは縛って持ちやすく使いやすいが、町のものはどうか。

A 現在のごみ袋はミシン目を切るタイプの袋です。24年度から昭和町でもマチ付きタイプの袋に変更するようにしました。これまでの在庫がなくなり次第、新しいタイプの持ちやすいものに変わります。販売先からは、8月ころには変わることを聞いています。

Q 災害時に一般下水道や水の供給が不足すると、トイレが使えない事態が発生する。対処方法は。

A 町には水や簡易トイレの備えもあり、今後増設を予定しています。どんなに備えがあっても、住民の防災意識と、家族や近所の

人で自主的に2〜3日持ちこたえる、自助・共助も必要ではないでしょうか。

Q イオンのオープン以降、昭和バイパスの渋滞も起き、交通量の増大で事故の危険性が高まっている。側道の建設やアクセスの利便性も考え、改良の余地はないか。

A 以前からこつした要望事項は、地元議員を含め承知している。住民の意向を良く聞き対応したい。町の都市計画道路であれば対処方法もあるが、警察との調整もある。

Q 押原公園の側道クランク道路は、大型車両の巻き込み事故も懸念される。側道や今後の対応として改善できないか。

A 交通量の増大や道路の改良により、新たなレーンの新設に伴う右折・左折の信号機の設置など要望も多く出された。十分協議検討して対応していきたい。

追跡



あの一般質問は どうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。



① 押原公園の安全な管理運営について

(平成24年3月議会 質問者：石原高明議員)

問 押原公園の南側駐車場の暴走行為対策について、進入路にゴム製の減速板を設け、車両の速度を抑制したらどうか。また暴走行為を防ぐため、駐車場内に車止めを設置したらどうか。

答 減速板の設置に関しては、各公共施設に設置してある効果を見ながら、効果的な設置を検討したい。また車止めについては駐車場内の暴走抑止に最小の設置数で最大の効果が上がるよう設置を検討したい。

その後

平成24年7月に減速坂を設置し、車止めも不規則に設置することで、経費を抑え暴走抑止に努めています。



新たに設置された減速板



② 緑化推進

(平成23年3月議会 質問者：福島正明議員)

問 町でも年々人口が増え都市化が進んでいる中、今まで以上に、心休まる自然環境を取り入れる緑化計画が必要ではないか。今後どのように進めていくのか。

答 各区や既存の緑化推進団体などのご協力を得ながら、町民の皆さまと一体となり、各地区公会堂・公民館などの緑化を進めていきたい。

その後



花を植えたポケットガーデン前で

町では一般住宅の建設に絡み、要綱に沿って生垣の推進や、道路端にポケットガーデンを整備しています。企業や保育園、ボランティアの協力をいただきながら、環境美化に努めています。また、各地区公会堂など、公共施設の周囲にプランター・花壇を設置し、季節ごとの花の植え替えを行っています。今年度は山伏川の枯れた桜の植え替えを行う予定です。

議会クイズ

空欄に適切な言葉を入れてください。

- 1 議会モニターは 名でスタート。
- 2 広報視察-加美町・内灘町・須 町議会が来庁されました。
- 3 一般会計補正予算 万円増加の予算総額66億6467万円に！

ヒント

議会だよりを読んでください

前回の
お葉書で
こんなご意見を
いただきました！

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢」を記入してください。議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛

《しめきり》

8月末日 消印有効



4月からの新人(社会人)です
今昭和町の会社で仕事を始め
ました。仕事のしやすさ(町北)
をお願ひしますと

さすか(県)の
コンクリート優
勝
しよ(心)はありま
す(心)

“毎回クイズを楽しみながら読んでおります。”
昭和町春晴らしい町ハンパナイ”

153号クイズの答え

体験	本部
66	4

議会広報 視察受入

5月、6月に3町から議会広報視察の受け入れを行いました。



加賀富士と呼ばれ、加美町のシンボルとなる薬葉山を持ち、四季折々の自然が誇る

宮城県加美町議会



著しく土地区画整理事業が進み、飛躍的な発展をし、今年町制50周年を迎える

石川県内灘町議会



福岡市のベッドタウンとして、福祉と健康づくりを柱に、自然豊かな住みよい町づくりに力を入れている

福岡県須恵町議会

委員会活動

教育厚生常任委員会

町長へ要望書を提出 6月1日

高齢者の医療費負担を軽減するため、後期高齢者医療費制度のなかの所得区分において、低所得者（世帯員全員が住民税非課税で、所得が0円となる世帯の方）の80歳以上の方を対象に、医療費無料化の実施を要望しました。

県内視察研修会を実施 6月20日

中央市玉穂分庁舎北にある、昭和町と中央市で共同設置した「障がい者相談支援センター」を視察。地域で生活する障がい者やその家族のための総合的な相談センターで、専門スタッフが常駐しています。

午後は、南アルプス市社会福祉協議会を視察。ここでは障がい者が社会参加のための外出の際、車を使って移動援助する「福祉有償運送事業」に取り組んでいます。他にも地域の特色を生かし民間住宅を使った高齢者支援にも取り組み、住民がふれあう場を積極的に作っています。

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。



昭和町 過去から未来へ



押越区
望月 健二さん

長女の卒園や小学校入学、また、今までのアパート暮らしでは手狭でもあり、家を建てることを決心しました。その時に私たちは「建てる家」より、「住む場所」「土地の大切さ」を一番に考えました。
以前より通勤や通園の利便性、大型ショッピングセンター等の商業施設の充実さもあり、昭和町には大変興味を持っていました。そんな折、現在の場所と出会い新居を建てました。
今年4月には、その長女が新一年生となり、押原小学校へ入学し素晴らしい教育環境の中で学校生活をスタートさせ、新しい町での生活が始まりました。
住み始めて約10カ月が経とうとしていますが、「古くて新しい町」昭和町にはそんな印象を持っています。多くの商業施設が建ち並ぶ一方で、地域、人と人との結びつきがとて強いと感じています。
移り住んだ当初から、地域の方々から気軽に声を掛けていただいたり、行事の際にも何も分らない私たちに、ご指導いただいたりと、新しい場所での生活も心配していましたが、今では安心して暮らしています。
今後は、地域行事やボランティア活動にも積極的に参加し、本当の意味での「昭和町民」になれたらと思います。

地域の絆を大切に



築地新居区
長谷川 文子さん

昭和町に越してきた当時は、二人の子どもたちが保育園へ入園する時期でした。その子どもたちも今は中学生になりましたが、教育や福祉の面で町民は優遇されていることが多いと感じています。
また、子どもクラブや育成会活動にかかわる中で、小さな子どもからお年寄りまでを対象にした、さまざまな取り組みが盛んに行われていることを知りました。
昭和町はコンパクトな町ですが、住民側にとつては町全体を把握しやすく、地域活動をするうえでも動きやすい規模ではないかと思っています。
大きな町に住み、知らない人が多い集団より、小さくても顔が分かるコミュニティは心地よい安心感をもたらせます。映画「Aways 3丁目の夕日」に、そんな地域の人との心温まる交流を見ることができます。親戚や近所の人が集まり、誰かのことに世話を焼いたり、手を取り合っただけで、けんかをしながら喜怒哀楽を共にできる幸せは、今ではなかなか得にくくなっています。
昭和町も、小さな町ならではのメリットを生かして「Aways」のような、人と人がつながる豊かで温かい町として発展してほしいと願っています。



平成17年から始まったクールビズも、昨年の震災以来、夏の節電対策の一環として、国ではスーパークールビズを5月1日から実施し、本町でも1カ月前倒しして5月8日から始め、庁舎内では昨年引き続き15%減を目標とした節電に努めています。

町民、当局および議会は一丸となつて、この夏を乗り切るための節電努力が必要ではないでしょうか。

昭和町議会だよりが、昨年全国最優秀賞を受賞し、全国からの視察を受け入れるたびに、広報に求められるものは「ありのままに、わかりやすく、住民とともに」ではないかと、編集委員一同あらためて思うところです。

これからも町民に愛される「議会だより」をお届けしたいと考えています。
(石原高明・記)

- 広報編集委員会
委員長 河住 保茂
副委員長 河田あけみ
委員 三井 猛 深澤 克男
林 和仁 石原 高明

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

9月4日(火)開催予定です

議会事務局 ☎275-8842

(河西・小林)

発行

山梨県昭和町議会
TEL.055-275-8842(直通)
TEL.055-275-2111(代)
山梨県中巨摩郡昭和町押越5-42-2 FAX.055-275-5250

